

就任のごあいさつ

3月議会定例会で、副村長に田中信行さん(元県職)が選任されました。任期は、4月1日から4年間です。

南阿蘇村副村長

田中 信行
たなか のぶゆき



プロフィール

熊本市出身 60歳
昭和56年4月〜平成31年3月 熊本県庁職員
趣味は旅行。時々、妻と釣り(もっぱらキス釣り)に行っています。
南阿蘇村河陽在住(単身赴任)。

野崎副村長の後任として、4月1日付けで副村長を拝命いたしました。

私はこの3月まで熊本県職員として奉職してまいりましたが、平成6、7年度は合併前の久木野村職員として勤務しました。その時、南阿蘇の雄大な景色、滔々と流れる豊かできれいな水、この水で育ったおいしい農作物、そして何よりも人々の温かさに触れ、南阿蘇村の魅力に感動したものです。

平成28年4月熊本地震の際、県庁総務部で勤務していましたが、県内各地の被災情報が次々に入ってくる中、あの南阿蘇村において、阿蘇大橋が落橋し、俵山トンネルが崩落、国道57号、南阿蘇鉄道やJR豊肥線も不通となったという一報を聞いた時は、こんなことが起こり得るのだろうかという驚きと落胆を隠せませんでした。

地震から3年が経過し、皆さまの努力により、俵山トンネルや長陽大橋が開通し、来年度には新阿蘇大橋が開通予定と、交通インフラの復旧は着実に進められています。一方で、まだ仮設住宅にお住まいの方々もおられ、生活の再建

をはじめコミュニティの再生や、観光客数の回復等々、まだまだ解決すべき課題も多数あると伺っています。

私自身これまで県庁では、もっぱら総務企画部門や商工部門、教育部門等に従事し、東京事務所勤務や民間企業派遣も経験しました。課題解決には、現場・現物・現実という三現主義を基本と考えています。そのためにも、これから村内各地を回ります。皆さまのご意見を伺わせてください。そのうえで、私の経験を村行政の課題解決に少しでも活かせればと思います。

村の皆さまと一緒に、熊本地震からの復旧復興に最優先で取り組むとともに、併せて創造的復興に努め、村の将来像である「誰もが住みたい 住み続けたい 南阿蘇村」を築いていきたいと考えます。私も、令和という新たな時代を迎えるにあたり、村長を補佐し、職員一丸となって、村民の皆さまが誇れる魅力ある村づくりに向けて誠心誠意取り組んでいきますので、どうぞよろしくお願います。

教育委員に就任

3月議会定例会の同意を得て、村教育委員に、藤安代さん(乙ヶ瀬)の就任が決定し辞令が交付されました。

任期は、3月26日から4年間。藤委員は平成29年から、前任者の退任に伴って残任期間の2年間教育委員を務め、今回の就任は2期目となります。



教育委員に就任した藤さん